

6 学年「月の形と太陽」 (50 分程度)

ね ら い	・月と太陽の位置関係について、多面的に疑似観察する経験をさせると共にプラネタリウムの機能を用いた俯瞰的な視点も与え、月の形の見え方と月と太陽の位置関係についての理解を図る。 ・プラネタリウムの機能を用い、月や太陽の表面の様子をダイナミックに感じさせることで、自然や天文への興味関心を喚起する。
投映内容	学習の流れ及び学習内容
1. 方位の確認 2. 月のようす 3. 太陽の特徴 4. 月の特徴 5. 月の形の見え方	・方位を確かめる。 ・日によって月の形が変わって見えることを確認する。 ・太陽の形、表面温度、黒点、プロミネンスなどについて知る。 ・太陽は、自ら熱や光を出していることを確認する。 ・月の形、表面温度、クレーター、海などについて知る。 ・月は、太陽の光を反射して、光っているように見えることを確認する。 ・日没直後（同時刻）の月を、日にちを変えて観察する。 ・月が約 1 ヶ月かけて地球の周りを回っている様子を、宇宙空間から俯瞰して確認する（発展的学習）。 ・視点を地球に変え、太陽と月の位置関係が変わることにより、月の明るく光って見える部分が変わる様子を体験する。
	○月の形の見え方のまとめ ・月の形が、日によって変わって見えるのは、太陽と月の位置関係が毎日少しずつ変わっていくため、太陽の光が当たって明るく見える部分が、少しずつ変わるからです。
選択学習① 宇宙開発 選択学習② 今夜の星空	・宇宙開発について映像やクイズなどを交えながら紹介する (例) 国際宇宙ステーション、アポロ計画など ・天文台学習実施日の夜に仙台から見られる星空を投映し、季節の星座の探し方などを紹介する

※ 選択学習はどちらかを選択いただけます。ただし、複数校利用の場合は最初に予約をした学校の選択内容となります。

※ 学習の流れは変更となる場合があります。